



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2005-03-31

「曲腰徒歩新聞」をやっとアップ。

30日のトイレで「転換の書 メ・ティ」の「矛盾」の項をもう一度読む。統一されていると見えるところに敵対関係が生まれ、敵対関係にあるところに統一が生まれるというのを、ロシア革命とナチ台頭の時期のドイツ共産党とキリスト教教会との関係を背景に語られている。朝食を新聞を読みながら食べているところに野々歩が赤ちゃんの写真を持って来て、自分が赤ん坊の時の写真に比べたり、麻理が当時作っていた絵本を見たりする。野々歩がアルバムを見ている姿を見て、彼の赤ちゃんが二十歳になるまでわたしが生きているとすると、九十歳まで生きるといふことか思ってしまう。野々歩はそれから台所にフックを付けて帰った。ストレッチ体操、シャワー。カボチャを煮る。「曲腰徒歩新聞」の記事に掛かろうと思うが、詩について考えるということなので、なかなか取りかかれぬ。ワンパラグラフ書いて、麻理が作ったきつねそばとカボチャの煮付けで昼食。食後、高校野球の中継を見ながら仮眠。それから仕事場へ下りて「曲腰徒歩新聞」をまたワンパラグラフ。自転車でパルケへ。イチゴ、トマト、リンゴ、刺身、アサリなど買って来る。イチゴを潰し、牛乳と砂糖を入れて食べる。夕刊を読む。「曲腰徒歩新聞」の書いたところに手を入れて書き直す。7時半廻って、麻理が帰ってきて刺身とアサリのみそ汁とカボチャの煮付けで夕食。ベッドに寝転がってサッカー日本対バーレーンを見る。オウンボールで得点を貰って1対0で日本が勝つ。それから仕事場へ下りて、「曲腰徒歩新聞」を書いてアップする。文章としては続きとなる。3月は2回しかアップできなかった。居間に行ってリンゴと牛乳と大福半分とサツマイモ。テレビのスポーツニュースでサッカーをやっている。仕事場へ下りて、灰皿blog日記。

01:25:11 - shirouyasu - No comments

2005-03-30

野々歩と由梨さんの赤ちゃんに会う。

29日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は、「矛盾」というタイトル。一度では頭に入らない文章。ストレッチ体操、シャワー。日録をノートして、昨日シアターXに行く途中に撮った千葉街道の写真をBlosxomBlogに入れる。昔書いた「ジョン・ルイスのピアノに始まる」という文章を新しく出る本に採録したいという手紙に「承諾」の返事を出す。12時過ぎに家を出てJR山手線池袋駅で下りて、メトロポリタンプラザの7階でざる蕎麦を食べ、民芸の「火山灰地第二部」を見るために東京芸術劇場中ホールへ。多摩美の卒業生・中地美佐子さんが「しの」役で出ている。農民の為に農地改良を研究し主張する農学者家族と貧困に喘ぐ農民たちの姿をリアルに描いた久保栄の大作の公演。登場人物が多く、筋は掴みにくかったが、祭りの場など迫力はあった。1時半ら4時半まで見て、JR山手線で澁谷に行き、バスで日赤医療センターの産院へ行く。野々歩と由梨さんの赤ちゃんに会う。鼻筋が通って目元がすっきりした女の子だった。Cybershot DSC-M1で野々歩があやしているムービーと、赤ちゃんのスタイルを撮る。30分ぐらい出産の時の様子を聞いたりしてから、タクシーで澁谷に出て、松川で鰻重を食べる。それから、東急本店まで行って、桜餅と大福、オリーブの缶詰、レタス、パン、ハムなど買って、またタクシーで帰宅。家の前で止まる寸前に820円から900円に上がる。夕刊を読んで買ってきた桜餅でお茶を飲んで、仕事場へ下りて、金井さんの写真をわたしの手の写真に代えて、中地さんに今日見た芝居の短い感想を手紙に書く。それからまた居間に行って、リンゴと牛乳と大福を半分。送られて来た「ユリイカ」の封を切ると、特集が「ブログ作法」となっている。ちょっと読みかけたところに麻理が帰ってきたので、赤ちゃんの写真を見せる。下に下りて、赤ちゃんの写真を取り込み、

Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

Categories

[All](#)

[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

灰皿blog日記を書いた。そういえば、昨夜、blog日記を書いた後、『ドキュメンタリーとは何か～土本典昭・記録映像作家の仕事～』のシンポジウムのゲラに目を通したのだった。それを今日出掛けるときポストに投函した。

01:15:23 - shirouyasu - No comments

2005-03-29

「母アンナFとその子供たち」の通し稽古を見る。

28日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、従軍医師の政治的立場について、敵が攻めてきたら戦って殺されるより、農民とか市民に変装して逃げてしまうことがあってもっとものことというように書かれていた。ストレッチ体操とシャワーの後、[昨夜撮った金井勝さんの写真](#)をBlosxomBlogに入れて、「曲腰徒歩新聞」の記事をちょっと書いてから、蕎麦を茹でて、かき揚げ天ぷら蕎麦にして麻理と昼食。食後眠くなって30分くらい仮眠。それから、小雨の中、出掛けて、両国のシアターXへ「母アンナ・ファイアリングとその子供たち」の稽古を見に行く。千葉街道を歩道橋で渡って、その上からCybershot DSC-M1で写真を撮る。ビルの9階のシアターXの事務所に顔を出してから、劇場の椅子に座って稽古を見る。演出のルティ・カネルさんがシーンの区切りごとに、ウエイト、ウエイトと言ったり、ワンダフル、ビューティフル、パーフェクトなどのかけ声を掛けて進めていく。細かいことは演出助手の渡辺さんと役者の山本さんが通訳して伝える。6時になったところで、6時半から通し稽古に入るので、デニーズでハンバーグとライスを食べ客席に戻った。衣装担当の加納さんも来ている。休憩の時、音楽担当の口ネン・シャピラさんに、この前ほしいと言われたわたしの英訳の詩を渡す。通し稽古は7時から始まって9時過ぎまで続いた。戦渦に生きる一人の向こう意気の強い女の不幸が重く伝わって来る舞台になっていた。JRで新宿に出て、小田急で代々木上原に下りたら雨は上がっていた。リンゴと牛乳と蒸かしたサツマイモで夕刊を読む。それから、仕事場に下りて灰皿町blog日記を書いた。

00:25:26 - shirouyasu - No comments

2005-03-28

息子の野々歩から由梨さんに赤ちゃんが生まれた、という電話。

27日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には哲学のことが書かれていた。注釈を読むと、プレヒトはアインシュタインやハイゼンベルクの説を読んでいた印象を受ける。ロシア革命と素粒子論が背景にあるのかと、ちょっと吃驚。ストレッチ体操、シャワーの後、仕事場でメールを見ようとするとcatnetに接続できなかったので、もともとIDを持っている@niftyに移行しなければならないかと、サービスのサイトを見に行ったら、「旧会員は新会員に変更し」なければならないようになって、次々にクリックして変更して、ついでに@niftyのメールアドレスも変える。その作業をやっているところに、息子の野々歩から電話があって、由梨さんに女の子の赤ちゃんが生まれたという。親子共に元気と云うことで安心。おめでとう。それから、@niftyのメールテスト。送信サーバのアドレスの綴りを間違えて通じないと何度かやり直して通じる。かき揚げ天ぷら蕎麦で昼食。仮眠。目覚めて、愛川欽也が出ているテレビドラマを半分眠りながら見てしまう。それから、BlosxomBlogに[チューリップの蕾](#)の画像を入れる。また、[「f451 BBS」](#)に「詩を読む」の詩を全部読んだことを書き込む。気温が暖かくなって着るものに迷って、5時過ぎ出掛けて、タクシーでイメージフォーラムへ。6時から恒例のイメージフォーラム付属映像研究所のカリキュラム会議。いろいろな意見が出て結構時間が掛かり、8時半過ぎに終わって、みんなで宮益坂のイタリアンレストランに行き食事。その時、かわなかさん、金井さん、萩原さんがそろってウーロン茶で乾杯ということになったのには、争えない年齢ということできささか感無量。11時廻って解散。渋谷駅前からタクシーで帰宅。帰宅してリンゴに牛乳とサツマイモ。仕事場に下りて灰皿町

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



blog日記を書く。その間に里芋を茹でているの忘れて焦がしてしまう。鍋についていないで芋を茹でるのは止めて、と麻理に云われる。

01:28:09 - shirouyasu - No comments

2005-03-27

「『詩を読む』を読む」を整理する。

26日は、毎朝途切れ途切れにBSで見ていたNHKの二つのテレビ小説「ええによぼ」と「わかば」が終わるのを見た。その終わると言うことが、前日、卒業式と続いたパーティで「あの子たち」とも一応お別れになった、という思いと重なる。トイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は現実の政治に照らして書かれているせいか分かり難い。ストレッチ体操、シャワー。「日録」をノートした後に、昨夜寝てしまっただけで書かなかった灰皿blog日記を書く。BlosxomBlogに[卒業式の後の記念写真撮影のスナップ](#)を入れる。それでもう2時を廻っている。卵とし掛け蕎麦を作って昼食。眠くなって仮眠。目が覚めたら、4時過ぎ、夕刊を読んで相撲の中継を見てから、バルケに行って昨日濱田未央さんに煮物の話しをしたときに教えて貰ったアク取りの紙を、先ず買って、レタス、カボチャ、グリーンピース、あぶらげ、甘塩の鮭、ハム、牛乳、かき揚げなどを買って帰る。それから、大根のみそ汁を作って、鮭を焼いて、まだ残っていた肉じゃがで一人夕食。その後、「曲腰徒歩新聞」の記事に、「『詩を読む』を読む」のことを[「f451_BBS」](#)に書き込んできた経緯を辿って書こうと思って準備を始める。「f451_BBS」の自分の書き込みに関係するところをコピーしてファイルに纏め、その書き込みをした日の「灰皿町Blog日記」の部分も、これもコピーしてファイルにして、その両方をプリントして、ざっと目を通す。わたしの考えは、渡辺洋さんの考えと交錯しながら、「詩を読めなかった」というところから、「アクションとして詩を対象化する」というところに、そして更に詩の捉え方を考えるというように変わってきている。一応整理が着いて、居間に行ってテレビをぼんやり眺めながらリンゴとサツマイモと牛乳。それから、[「詩を読む」](#)の残りの詩を読み、86編の詩と洋さんの散文を全部読み終えた。そして、灰皿blog日記に書いた。

01:25:20 - shirouyasu - No comments

2005-03-26

多摩美造形表現学部卒業式、謝恩会、映像演劇学科卒業パーティ。

25日は、多摩美造形表現学部、つまり上野毛キャンパスの卒業式。早めの朝食の後、トイレで「転換の書 メ・ティ」。それから9時半過ぎに家を出て田園都市線で二子玉川乗り換えで上野毛へ。二子玉のフォームから雪の丹沢が見える。風が冷たい。上野毛の駅を下りると、袴の女子学生が目立つ。校庭にも袴姿が屯している。11時から講堂で卒業式。先ず学位記証書授与、各学科の教務主任が卒業生一人一人の名前を読み上げ、客席の卒業生が起立して、学科ごとの代表が壇上に登って学長から授与される。映像演劇学科の代表は嶋田衣里子さん。学長告辞、理事長祝辞、学部長祝辞、教員代表祝辞、校友会副会長祝辞と続いて式が終わった後、203教室に行って、そこで映像演劇学科長の福島勝則教授が卒業生一人一人に証書の名前を読み上げて手渡した。続いて、卒業作品の優秀賞と学科長賞の授与があった。その後、学位記は学生証と交換されて、持ち帰ることが出来る。わたしは研究室に戻り赤飯弁当を食べる。それから校庭で映像演劇学科の卒業生全員の記念撮影。数人の学生から一緒に写真を撮られる。1時半から、301の大きい教室で学部全体の立食卒業パーティ。数人の学生と立ち話する。3時近くなって、自由が丘の「周之家」に移動して映像演劇学科の謝恩会へ。わたしが乾杯の挨拶を頼まれる。送る言葉として、「それぞれが表現を学び実践してきたこの先、表現を持続させるために、一人一人が「方法論」を構築して欲しい」と話す。数人の学生と就職先やいろいろ具体的な話しをする。5時過ぎに散会。次の7時からの「O'CAROLAN'S IRISH

PUB」での映像演劇学科卒業パーティまでの時間、佐々木文美さん、島田安津子さん、戸田なつこさん、鈴木聡子さん、北川陽子さんたちと喫茶店でコーヒーを飲んだ。卒業パーティでは、非常勤講師の大久保賢一さんも参加して、小森まりさん、中林舞さん、佐藤すずみさん、大道寺梨乃さん、藤谷香子さん、野上絹代さん、青柳清美さんと3年生の松岡由利子さんたちの「バンド」グループのミュージカル劇があり、大志多麻衣さんがギターで自分で作詞作曲した歌を歌った。わたしは、隣の野上絹代さんのお母さんと、それから大道寺梨乃さんと、また川田夏実さん、久延将大君とも話しをした。そこを9時過ぎに出て、みんな帰らないで寒い中、路上に立って2、30分ぐらい話しをしてから、帰る者は帰り、残った30人ぐらいが次の店を探して、その店に行ったものの、また30分も待たされるというので、スナックに入ってコーヒーとかココアを飲んで時間を潰してから次の店に行った。1時頃まで隣の河野竜也君、前に座った野上さんと鈴木将也君と話しをして、1時過ぎに眠くなって帰るといって、濱田未央さん、篠崎ゆうさんと卒業生の小沢和史くんが外まで送ってきてくれて、駅から離れたところでタクシーを拾って帰宅した。リンゴと牛乳とサツマイモを口にして、夕刊にざっと目を通し、テレビでサッカーの日本が負けたのを見てから寝た。

14:00:31 - shirouyasu - No comments

2005-03-25

煮物三昧の日。

昨日触れた中根幸子さんの「Karopaska」という作品について、小口詩子さんにメールで聞いたら、もう少し詳しいことが分かったのでメモを加える。

「Karopaska」はカロパスカと読み、「ダイナマイトを投げる時の掛け声で、今現在、ダイナマイトを投げている若者も、昔投げていたおじさんも、この掛け声と共に、命懸けでダイナマイトを投げています。つまり、島の男たちのある種、合い言葉的なニュアンスのある言葉です。また、父から息子へ、受け継がれる言葉であり、引退した者にとっては、祭りや、仲間を思い出すキーになる言葉」という中根さんの説明。また、中根幸子さんは、以前行ったことのあるギリシアのカリムノス島という島の人に興味を持ち、ドキュメンタリーを撮ろうと昨年の夏に行ったが、取材相手がいなかったので劇映画を撮ってしまったが、満足できなかった。この冬、シナリオを書いてもう一度行って撮影して卒業制作にしたということ。小口さんの話では、「中根さんはギリシャ語は話せないけれど、英語とジェスチャーでなんとかコミュニケーションをとったといっていました。役者はみな素人なので、気が乗らないと逃げられてしまうので、朝、家の前で待ち伏せしたとも言ってました。」ということ。こういう大胆な女性が出てきたのだと、世代の違いをまざまざと感じさせられる。その行動力で今までにない作品を作りたいと思う。

さて、24日は、朝食の用意と同時に黒豆を煮始めて、朝刊を読んで、食後はトイレで「転換の書 メ・ティ」を読む。ロシアの革命運動と重ねて書かれているので意味が掴みにくい。ストレッチ体操、シャワー。日録を書いてから、昨日行った[早稲田松竹](#)の画像をBlosxomBlogに入れる。麻理が卵とし蕎麦を作って一緒に昼食。黒豆は4時間煮て、美味しく煮えた。それから、[「f451 BBS」](#)に「パターンを越えるには」というタイトルの書き込みをして、銀行に行って会計事務所に確定申告の料金を振り込み、郵便局に行って女優の中地美佐子さんに頼んだ「火山灰地2」の切符代を振り込んだ。それから、本屋の文教堂を覗いて、隣の文具店でボールペンを買って帰った。家の前で、雲が綺麗だったので撮影。そして、ジャガイモの皮をむき、タマネギを切って、白滝をを茹で、豚肉から炒め始めて、肉じゃがを煮た。相撲中継をちょっと見て、夕刊を読む。夕食は7時半過ぎに麻理と肉じゃがと黒豆とみそ汁。その後、ベッドで仮眠しながら、テレビドラマ「新・京都迷宮案内スペシャル」を見てから風呂に入る。リンゴと牛乳とサツマイモ。仕事場に下りて、[雲の画像](#)にシャドウを付け、日付が変わってからBlosxomBlogに入れることにして、灰皿町Blogの日記を書いた。

01:15:58 - shirouyasu - No comments

2005-03-24

早稲田松竹へ「FOR YOUR EYES ONLY」上映会を見に行く。

23日は、朝、多摩美の卒業生で映像作家の上岡文枝さんから、このblogを見てるとよくサツマイモとリンゴを食べているのでと、サツマイモとリンゴとミカンが送られてきた。彼女は高尾の八百屋の娘さんなのだ。そのサツマイモを新聞を読みながら、蒸かした。トイレで「転換の書 メ・ティ」を読んだ後、日録をノートして、上岡さんにメールして、BlosxomBlogに[紫陽花の芽](#)を入れてから、[早稲田松竹](#)へ行った。高田馬場駅から小雨の中を歩いた。「FOR YOUR EYES ONLY」は早稲田大学芸術学校空間映像科が主催して、早稲田系の川口芸術学校、第2文学部表現・芸術系、大学院国際情報通信研究科などの映像作品の合同選抜上映会というわけ。わたしは、一昨年、その空間映像科の卒業作品を講評したことがあるのが縁で、その講師をしている小口詩子さんから誘われて行って見ることにした。その内、「大学院プログラム」と「第2文学部プログラム」と「空間映像科プログラム」の、合わせて9作品を見た。その中の中根幸子さんの「Karopaska」という作品には吃驚させられた。ギリシャの港町にロケして、出演者がギリシャ人たちでギリシャ語で話され、日本語スーパー付きでストーリーが展開して行く。話しは、ダイナマイトを投げ合う習わしがある港町の復活祭を背景に、少年と父親を軸に、その父親と幼友達の友情が、少年の怪我の治療代の為に、麻薬の密輸に絡んで復活するという展開をする。ダイナマイトを投げて爆発させるシーンとか、復活祭のパレードなどを取り込んで、父と子の愛情と男の友情と気持ちよく感じられて、よくできていた。小口さんに聞いたら、中根さんは一人で現地に行って撮影したということだった。こんな作品との出会いがあると嬉しい。「空間映像科プログラム」が終わって映画館を出て、JRで新宿へ。高野で紅茶、アッサムとニルギリを2袋ずつ買う。それから、小田急地下で金目鯛の照り焼きと鮭の焼き物、五目おこわと栗おこわ、蕪の漬け物を買って一旦帰ろうとエスカレーターに乗ったが、思い直してまた地下に下り、トマト、レタス、ジャガイモ、タマネギ、豚肉なども買ってタクシーで帰宅した。昼飯を食べてなかったので、お腹が空いていて、急いでキャベツを刻んでみそ汁を作り、残っていたカボチャの煮物と金目鯛とみそ汁とおこわで夕食にした。食べ終わったところにおばあちゃんのところに行っていた麻理が帰ってきた。それから、寝室で仮眠。NHKスペシャルの日本建築の耐震構造の研究の番組を見てから、更に刑事ドラマ「相棒」を見る。死体遺棄と戸籍の書き換えと尼寺と性同一性障害を絡めた複雑なドラマだった。ベッドに横になっている間に、見木久ヲ君から「極私的に遂に古稀」の音楽のCDが速達で送られて来ていた。上岡さんから送られて来たリンゴを食べて、仕事場を下りて、先ずCDからHDにコピーして、届いた旨を見木久ヲ君にメールして、小口さんにもメール。それから金井勝さんにメールの返事。この灰皿町blog日記を書き始めたら、猫のママニが足下に来て鳴くので台所に行って、外に出たがるので煮干しをやり、わたしは牛乳を飲んでサツマイモと角きんつば半切れを食べて、また仕事場に戻り続きを書いた。

01:56:47 - shirouyasu - No comments

2005-03-23

シアターXへ「母アンナ・ファイアリングとその子供たち」の稽古を見に行く。

22日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は「いろいろな殺しかた」というタイトルで「ひとを殺すには、たくさんのやりかたがある。ナイフを腹に突き刺したり、パンを取りあげたり、病気を治療してやらなかったり、ひどい住居におしこめたり、死ぬほど酷使したり、自殺に追いこんだり、戦場へつれだしたり、などなど。われわれの国家では、このうちのほんの僅かしか、禁止されていない。」という短いものだった。ストレッチ体操でかいた汗をシャワーで流し、20日の花瓶に入

れたイメージフォーラムの[卒業式で貰ってきた花束](#)を撮ってBlosxomBlogに入れる。それから、片づけと掃除に来た野々歩と天ぷら蕎麦を作って食べながら、イメージフォーラム卒展の作品についてあれこれ話す。食後、わたしはシアターXへ「母アンナ・ファイアリングとその子供たち」の稽古を見に行く。シアターXの上田さんと話した後、劇場内に行くと、美術担当のロニ・トレンさんと音楽担当のロネン・シャピラさんに紹介される。ロネンさんに英語で話しかけられてどぎまぎした。三つのシーンの舞台稽古を2時間ぐらい見て、夕食の休憩に入る前にそっと劇場を出る。同じビルの「デニーズ」で和風ステーキで一人夕食を食べて外に出て、横断歩道を渡ろうとしたら、食事から戻ってきたルティさんと山本さんばったり会ってさよならを言う。公演は4月1日からだが、もう後2回ぐらい稽古を見たいと思う。8時過ぎ帰宅して、夕刊を読んで、ロネンさんから求められたわたしの英訳された詩をコピーして、昨日の続きで「詩を読む」を読み始めたが、稽古のことが気になって、そういえば貰った台本の扉にプレヒトの別の脚本の題名「例外と原則」が小さく印刷されていたのを思い出して、それが収録されている「プレヒト教育劇集」を開いてみたら、「例がと原則」の公演の写真にトランクを背負った男が写っていた。稽古でもトランクが使われているので、どういうことかと、その「例外と原則」を読んでしまった。石油の開発を意図する商人が案内人と苦力を連れて、競争相手の先を越そうと砂漠を旅する途中、商人が水筒を持ってきた苦力に、自分が虐めたことの復讐の為に襲われたと誤解してピストルで撃ち殺してしまうが、裁判では雇い主に虐められた苦力は雇い主を襲うという原則の下に、苦力の親切な心が例外として認められず、商人は無罪になるという話で、支配・被支配があるところでは、世の原則というやつを疑えという教育劇だった。トランクは、担ぐ担がされるというところで支配関係の象徴となっている。これを読んで、演出のルティさんが台本の扉に「例外と原則」を入れたのは、原則とされているものを疑えというとなのだらうと思った。読み終わって、リンゴとサツマイモ一切れを食べ牛乳を飲んでから、灰皿blogのこの日記にかかった。

00:54:11 - shirouyasu - No comments

2005-03-22

続・「詩を読む」を読む。

21日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は「哲学をまた脱走させなければなるまいね。捕まっているのだから」で始まる「哲学の起源」。ストレッチ体操、シャワー。それから、[枯れたチューリップ](#)を撮ってBlosxomBlogに。その後、昨夜書かなかった灰皿Blogの日記を書く。それで昼食。麻理と茸など入れた卵とし蕎麦を食べる。仮眠。東京大空襲の米軍パイロットのその後のドキュメンタリーを見てから、パルケに行って買い物。かき揚げ、黒豚肩ロース、牛乳、豆大福、角きんつば、生椎茸、ニラ、タマネギ、トマト、キャベツ、イチゴ、パプリカ、ジャガイモ、グリーンピース、伊予柑など買う。レジのところでピーマンとモヤシを買うのを忘れたのに気が付いたが、途中の八百屋で買って帰る。流しの洗い物をして、先日買ったカボチャと牛蒡と、今日買ったグリーンピースを煮る。仕事場に下りて、渡辺洋さんの「[詩を読む](#)」のプリントを読み始める。その41 石原吉郎「若い人よ」からその49 齋藤恵美子「夜勤」まで読んで、カボチャの火を止めに台所に行って、そのまま居間でお茶を飲みながら相撲中継の魁皇から朝青龍の取り組みまでを見て、仕事場に戻る。多摩美謝恩会の参加通知の為のアドレスを助手の木村さんに問い合わせ、メールする。「詩を読む」を読み続ける。それから夕食。さっき買ってきた肉などで麻理が肉野菜炒めを作って、カボチャの煮物と大根のみそ汁。食後、仮眠。9時頃仕事場に下りて「詩を読む」を読み、その71 老子「老子 第78章」まで読んで、リンゴを食べてから、[「f451 BBS」](#)に書き込む。そして牛乳を飲んで豆大福半分とサツマイモを食べて、灰皿blog日記に取りかかる。

01:26:46 - shirouyasu - No comments

2005-03-21

イメージフォーラム付属映像研究所第28期卒業式。

20日、トイレで「転換の書 メ・ティ」を読んで、ストレッチ体操をして、シャワーを浴びて、イメージフォーラムへ。地下鉄の表参道で下りて青山通りを歩いて、青山大学前の歩道橋を足の鍛錬と渡って行った。1時から卒展のBプログラムを見て、続けて3時からEプロを見て、その後専任講師たちによる優秀作品の選定会議に参加。映像作家の奥山順市さん、映画監督の金井勝さん、映像作家のかわなかのぶひろさん、映像研究家の西嶋憲生さん、映像研究家の村山匡一郎さん、映像作家の中島崇さん、イメージフォーラム・アートディレクターの池田裕之さんとわたしで審査して、4作品には優秀賞として秋山祐徳太子さんの版画がそれぞれ贈られたが、今年是最優秀作品のトロフィーは、この卒制作品が手直しして上映される選抜展を見て、そこで再審査して贈られることになった。審査の後、卒業式。そこには映像作家の萩原朔美も参加して、専任講師の一人一人が、卒展の概評と祝辞を述べた。わたしは、前日考えていた「公衆を意識しない公衆」ということから、ネット時代の「身近」が境界なく広がる「パブリック」ということを考えるべきではないかという話しをした。また、[かわなかさんの「全作品評」](#)が配られた。卒業式が終わって、宮益坂の一つ裏の「WEST」での卒業コンパに行った。奥山さんの音頭で乾杯した後、右隣に座った「CREVASSE」の作者の野村雅夫君と、また前に座った「カメラ」の山田泰士君と、斜め前の「回し車」の岡崎潤君と、左隣の「どんぶら目(まなこ)」の田島孝道さんと、それから向こうの席から来た「旅人の見る夢」の石垣知子さんと、ちょっと席をずらして、「私が選んだ父」の国井智美さんと、「双」の河原夏子さんと、そして「融解点」の岩淵悠さんと、また左隣にきた「連続写真」の村田雄一君と、次から次へと中島さんの閉会の言葉で解散になるまで続け様に話しをして、殆ど食べる間もなかった。店を出て、道で屯しているとき、「ANOTHER TEMPERATURE」の渡邊智史君と話し、歩きながら「振り返るまで」の愛川佳志君と話しをして、二次会に誘われたが、宮益坂下でタクシーを拾って帰宅した。帰って、昼と夜とちゃんと食事してなかったのでお腹が空いて鍋に僅か残っていたカレーを温めてカレーライスで食べた。食べ終わったところに麻理が来て、わたしも食べたかったのにと言ったがもう食べてしまっていた。その後、疲れて、とてもこの灰皿blogを書く気力もなく、リンゴを食べて寝てしまった。

13:22:17 - shirouyasu - No comments

2005-03-20

イメージフォーラム付属映像研究所第28期卒業制作展をみる。

昨日書くのを忘れていたが、午後仮眠する前に書肆山田から「るしおる」の最新の56号が送られてきて、掲載されているわたしの詩「顔語り」と入沢康夫さんの詩「自首(?)する男の唄」を読んだのだった。

今日19日は、トイレで「転換の書 メ・ティ」を読んでストレッチ体操、シャワーの後、[庭に差し込む日差し](#)をCybershot DSC-M1で撮ってBlosxomBlogに入れた。それから11時前に家を出て、地下鉄で澁谷に出た。[銀座線が渋谷駅に到着する前的高架から俯瞰したところ](#)をCybershot DSC-M1でムービーで撮影する。そしてイメージフォーラムへ。1時からイメージフォーラム付属映像研究所第28期卒業制作展のFプログラムを見て近所のうどん屋でうどんを食べる。それから、3時のAプログラム、5時のCプログラム、更に7時のDプログラムを見た。AとCは立ち見で一杯だった。全部で長短合わせて30作品を見た。途中の休憩に事務所でコーヒーを飲んだからといっても、かなり疲れた。見終わったのは9時近くになっていて、富山さんが作った味噌煮込み汁を御馳走になった。見ながら考えたことは、佐々木友紀君の作品「いれてッ！」が高校生の男女の愛を語る作品だったが、主演の女性が途中で出演を拒否したために、出来なくなったことを、途中から制作現場の映像にか

ぶせて延々とその言い訳を文字で出すので、そのことから、わたしはこの若い人には「パブリック」ということがないのだなあと思ったことだった。他の作品にもそれは通じるところがある。作品を発表するということは「公衆の前に出す」ということだが、そういう「公衆」という意識がない。あるいは、発表の場をきわめて狭い人間関係としか受け止めてないのだと思った。後で、金井勝さんは「許せない」ときびしく批判していたが、まさにその通りだが、「発表の場」がホームページなどを含めて個人的な場面に広がってきていることの結果だと思う。金井さんが許せないといい、わたしも同調する考え方をするのは、先ずは恥ずかしいじゃないかと思うからで、それは「公衆」という存在を意識して、倫理として踏まえているからだ。メディアが個人的になり身近になって、「公衆を意識しない公衆」という存在が出現してきている、というわけですね。10時廻ってタクシーで帰宅。昨日のカレーに牛乳を入れて温めて食べる。それから夕刊に目を通して、仕事場へ。銀座線渋谷駅の高架から撮った5秒の短い映像を3つ繋げてQuickTimeムービーにしてから、このblog日記を書いた。

00:36:06 - shirouyasu - No comments

2005-03-19

昨日に続けて「詩を読む」を読む。

18日、トイレでは「[「転換の書 メ・ティ」の「犯罪者について」](#)の項目。「キン・イエーには、泥棒とか、強盗殺人犯とか、詐欺師とか、粗暴犯といった単純な犯罪者をいささか偏愛するくせがあった。」と書き始められている。ブレヒトの芝居にはピカレスク小説に通じるところあると感じていたが、なるほどと思う。ストレッチ体操の後、風呂に入って頭を洗う。その後、[枯れてきたチューリップの花](#)をCybershot DSC-M1で撮ってBlosxomBlogに入れる。麻理が苜入りの掛け蕎麦を作ってくれて昼食。[「f451_BBS」](#)に「Re:「詩を読む」を読む」を書き込む。仮眠。目が覚めてテレビの再放ドラマ「おみやさん」を見る。今日の話はコンビ二殺人強盗の手先だった女が、そこで傷を負った男と結婚して幸福な家庭を持って、自分の子供たちに、自分の身の上を雪女の話に託して聞かせているというもの。子供心を味付けにしている、脚本家も大変だなあ、と思う。見終わって、買い物に行こうとしたらわか雨になって、透明のビニール傘を差して自転車でパルケへ。カレーを作るためのジャガイモ、それからパン、リンゴ、牛乳、イチゴ、長ネギ、牛蒡、カボチャ、金時など買って、雨がやんだところで帰り、カレーを作り始める。と、ニンジンを買ってくるのを忘れたのに気づく、オーストラリア産の牛肉とタマネギとジャガイモのカレーにする。一応出来る頃、炊飯器でご飯も炊く。炊きあがるまで、居間で夕刊を読み、相撲の中継を見る。朝青龍は強い。仕事場に行き、卒業生の高橋亮太君からメールで知らせてきたアーチストサイト[「国立国」](#)を見る。それから、掃除に来ていた野々歩とカレーで夕食。食後、仕事場に戻って、「詩を読む」の詩を幾つか読み、残り全部のプリントアウトを仕掛けて、寝室のテレビで時代劇「慶次郎縁側日記」を見て、また仕事場で「f451_BBS」に書き込み、「詩を読む」プリントを65ページその40 佐藤信「夜と夜の夜」まで読んだ。居間に行き、リンゴ、牛乳、草餅を麻理と半分にして食べて、仕事場に来てこのblog日記を書いた。

01:10:04 - shirouyasu - No comments

2005-03-18

「詩を読む」を読む。

17日は、一昨日掛けた目覚まし7時半に鳴ってしまい、目覚め、テレビ小説の「わかば」「ええによぼ」「トクダネ」を見てから起床。朝食、朝刊もゆっくりと読む。ライブドアのこと、竹島のこと、踏切事故のこと。竹島のこと、トクダネ」で、韓国の軍隊が既に駐屯していて一種の観光地になっている様子を見た。韓

国の人自分たちの領土だと思ふのも無理無いなあ、という印象。そうなっているのに、何で今まで日本の政治家は黙っていたのどころか不思議に思った。トイレでは「転換の書 メ・ティ」。「起こりうる戦争について」の項は支配階級と被支配階級との二分された国とソ連との関係についてで、ややこしい。ストレッチ体操をしながらサツマイモを蒸かす。シャワーを浴びてから、仕事場で**蘭の花**の画像をBlosxomBlogに入れる。それから、昨夜残したかき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。その後、2時前に小降りの雨の中、出掛けて、多摩美へ。3時前に研究室に着くと、ドアの前で約束した学生が一人待っていて、彼と今後の進路のことを話し合う。彼が今までやってきたことを辿りながら、そのことで自信を持てるように、そのやってきたところを深めようというのがわたしの結論。5時半廻って下校。上野毛の幸楽飯店で肉野菜炒めとライスを夕食として食べて、二子玉乗り換えて帰る。二子玉のフォームでつよい風を受ける。雲行きが綺麗。帰宅して夕刊を見て、眠くなって仮眠。9時過ぎに仕事場に下りて、渡辺洋さんの「[詩を読む](#)」のこの前プリントして読み残していた20ページ分を読み、更に20ページ分をプリントする。そして居間で、ライブドアのフジテレビ株買収のテレビのニュースを見ながら、リンゴと牛乳とサツマイモ一切半と角きんつば半分を食べて、また仕事場に戻り、「詩を読む」を読んだ感想を洋さんの「[f451掲示板](#)」に書き込み、その後、この「灰皿町Blog」を書いた。

00:51:16 - shirouyasu - No comments

2005-03-17

多摩美造形表現学部の一般入試の合格者発表。

16日は、7時半に起床。朝食、朝刊、トイレで「転換の書 メ・ティ」。そして、着替えて出掛ける。多摩美造形表現学部の一般入試の合格者発表の日で、10時から教授会が開かれて合格判定会議。合格者が決まって発表となる。映像演劇学科は45名が合格。昨年の秋に行った自己推薦、社会人入試と併せて75名の合格者が決まった。教授会の席では配られた合格者番号を見て、創作や面接で印象に残った子が受かったどうかを確かめる。創作と面接とよかった子が、学科の点が悪くて順番が下がっていたり、逆に学科の成績がよくて上がっていたりする。判定会議の教授会の後、映像演劇学科の会議。来年度のカリキュラムや年間の学事予定の確認がなされる。特に、履修案内のガイダンスについては詳しく打ち合わせる。そして、来年度の入試の基本的な進め方の話し合いをする。自己推薦入試を昨年からはじめて、その成果をどう踏まえるか、少子化で受験生が減っていく傾向の対策と併せて考えようというのだ。2時過ぎに会議は終わり、わたしは研究室に戻って、受験生の概評分布や生年分布をエクセルで数え出して、福島勝則学科長に入試資料として渡す。偏差値がやや上がって、浪人生は少なくなっている傾向がある。大学検定の受験生も多くなった。「大学検定を受ける」ということの意味が変わって、敢えて高校に行かないということを選んでいる子が増えてきているといわれるようになってきた。その後、試験の創作の合格と補欠の子の作品を、副手の加藤さんに手伝って貰ってDVカメラで撮影する。今年の創作の問題は、配られた首都圏の地図を見て、想像の旅をして、そのお土産を作り、お土産の由来書を書いて、紙の箱を組み立てて、そこに入れて提出しなさい、というものだった。わたしは、その作品をデジカメラで撮って、入学してきた学生を後に後にフォローする為の参考資料にする。それを終えて5時過ぎに下校。二子玉のフォームから見た多摩川の川面に夕日にほんのりと染まっていた。この時間に田園都市線で渋谷方面に乗ることは滅多にない。渋谷で下りて、東急本店に行って、地下で天ぷらセット、おろしの大根、サツマイモ、オリーブの缶詰、レタス、ロースハム、草餅、栗おこわなどを買ってタクシーで帰宅。980円。麻理がみそ汁など作って、二人で夕食。その後仮眠。テレビドラマ「相棒」を見て、つまらなかったのでもちょっとがっかりして、仕事場に下りて「かわごちコラム」を読んで、メールなどしていたら、11時半を廻ってしまい、日付が変わらないうちにBlosxomBlogに画像を入れなければと急いで**手の画像**を入れて、その後この灰皿町blogに書き込む。

00:39:23 - shirouyasu - No comments

2005-03-16

半月振りに「曲腰徒歩新聞」の記事を書く。

15日は何処にも出掛けなかった。トイレで「転換の書 メ・ティ」を読む。このところ「協会」つまり「党」というものの存在の意味が書かれている。1934年頃に書かれた文章だからか、そのあり方の基本を書いている。家に変わる社会の最小単位として職場というようなことも書かれている。今の日本でそういう最小単位というようなものをどう考えるべきだろうか。戸籍というものの単位を生まれたときから個人にしたらいいのではなどと思う。ストレッチ体操する前にカボチャと牛蒡を切って煮始める。ストレッチ体操、シャワー。そしてBlosxomBlogに昨夜の飲み会で撮った阪下さんたちの写真を入れたところで、カボチャが煮上がる。続けて、昨夜書かなかったこの「灰皿町blog」の記事を書く。全部書き終えて「save」するところで、接続が切れていたのでブラウザの「更新」をクリックしたら、書いた文章が全部消えてしまった。つまり、ブラウザの「フォーム」に書いただけではメモリに浮いているだけで何処にも保存されていないのだということをすっかり忘れていた。がっくりして、台所に行って、うどんを茹でて、昨日買ってきてあったエビ天で天ぷらうどんを作って昼食にする。食後ちょっと仮眠。仕事場に戻って「灰皿町blog」の日記の書き直す。もう4時過ぎで夕刊が来る。相撲中継を見ながら夕刊を読む。野々歩が来て仕事場の片づけをする。奥のコンピュータコーナーの付け替えた換気扇の音が気になるので、はずしていろいろやってみて貰うが結局だめで、換気扇そのものを買って換えることにする。7時過ぎに麻理が帰ってきてハンバーグを焼いて夕食。皿などを洗う。そしてサツマイモを蒸かす。その後、またちょっと仮眠。仕事場を下りて半月振りの「[曲腰徒歩新聞](#)」の記事を書き始めて、11時廻って書き上げてアップする。それから、このblogを書いた。

00:01:51 - shirouyasu - No comments

2005-03-15

多摩美の映像演劇学科1年生の飲み会。

14日は、トイレで「転換の書 メ・ティ」を読んでから、BlosxomBlogに二子玉のフォームから撮った多摩川の風景を入れて、自転車で小林医院に行き、血圧の測定と診断を受けて、処方箋を書いて貰って慶応堂薬局へ。薬の調合をして貰っている間に、代々木上原駅高架下の東京三菱銀行へ歩いて行き、確定申告で決まった所得税の追徴分を払い込んだ。慶応堂へ戻る途中、漢方薬局で喉の薬と軟骨増強のサプリメントを買い、慶応堂で調剤済みの薬を受け取って、小林医院の前から自転車でパルケへ。パルケで、レタス、牛乳、パンなど買って帰宅。昼食は麻理と貰ったインスタントおかゆと残っていた肉じゃが。仮眠。その後「おみやさん」を見て仕事場へ。「灰皿ネット・ゲストブック」に石川為丸さんがblogを作ったと書き込んであったので、その「南風文庫」を見て、吉田文憲さんや瀬尾育生さんに対する批判文が載っていたが、口調が面白いので、白抜き文字は読みにくいのでエディターにコピーして黒にして読む。「わしら、、、」という文体が、ブレヒトの「身振り言語」を思い出せる。夕方、相撲中継を見ながら夕刊を読む。7時頃刺身で麻理と夕食。惚け防止に単純計算と音読というテレビを見ながら、ちょっと仮眠。8時に家を出て、1年生の飲み会がある二子玉へ。二子玉に着いたら、申し込んだ店が自由が丘店だったので、大町線でみんなと一緒に自由が丘へ、講師の安藤紘平さんも一緒。「TAPA自由が丘店」で飲み会。副手の木村和代さんの誕生日前夜祭ということで乾杯。それから前隣の席で懇談。[前に座った阪下さん](#)がこのblogを読んでいるというのでデジカメで撮ってBlosxomBlogに入れることにする。話題は、2月の発表会の作品のことと、2年生になってのコース選びのこと。12時に一次会は解散して、その後、同じビルの5階の「土間土間」で2次会。わたしは1時廻ってタクシーで帰宅。リンゴと牛乳を口にしてから、ちょっと酔っているからBlogは

書かずに寝た。

16:17:16 - shirouyasu - No comments

2005-03-14

映像演劇学科一般入学試験の採点を終える。

13日は、7時半に目が覚めて、そのまま起床。朝食の後トイレへ。「転換の書メ・ティ」は「文学における身振りの言語について」を読む。ブレヒトの詩論の基本となるところということ。言葉というものが、意味だけでなく身振りを持っているということが書かれている。このblogの言葉はどのような身振りということになるだろうか。この前踵を切ったプラスチックの踏み台の角をヤスリで削って、ストレッチ体操をして、シャワーを浴びる。気持ちがいい。それから、[庭に咲いた名前を忘れた花](#)の画像を撮り、BlosxomBlogに入れる。11時過ぎに家を出て多摩美へ。上野毛のさくら庵でおかめそばを食べる。蕎麦屋のテレビがNHKのど自慢になったところで多摩美に向かう。途中で、昼食を食べに行く同僚の萩原朔美さんとばったり会う。わたしは研究室に行ってから、創作の採点場になっている演劇スタジオへ行って、昨夜の続きの採点をする。1時間ほどで全部終えて、よかったと思う幾つかの作品を見直す。4時頃から、創作、面接、作文の採点の合計が出たところで、実技の判定原案の作成会議。明後日、学科長と教務主任がそれを持って、英語、国語の合計点と合わせる会議をして、最終的な合格者原案が出来て、それが教授会で承認されて合格者が決定する。合格発表は16日。映像演劇学科として一応入学試験が終わった段階で、もう来年に向けての入試の、案内や説明会やその他もろもろの準備が始まるのだ。すべて終わって、いろいろと整理して、わたしが下校したのは9時を廻っていた。地下鉄で帰宅。代々木上原について、家に向かって歩いている途中、昼の弁当を貰って、食べなかったので、持って帰るつもりだったのを忘れてきたことに気が付いた。家について、研究室に電話すると、木村さんがまだいたので食べるなりなんなりして欲しいと伝えた。それから、もう始まっていたBSの「義経」を見て、リンゴを食べ、牛乳を飲んでから、仕事場に下りてメールを見たら200通を越える迷惑メールが来ていた。原稿依頼のメールに断りのメールを出し、学生たちに2、3の返信メールを出す。そして、このblogに書き込み。

00:26:19 - shirouyasu - No comments

2005-03-13

映像演劇学科の面接試験と創作の採点。

12日は、引き続き多摩美造形表現学部の、デザイン学科の実技試験と、映像演劇学科の面接試験があった。昨日と同じ6時半起床で8時頃家を出て上野毛キャンパスへ。コンビニでのご飯を買っていく。わたしは映像演劇学科の教員として面接試験をした。教員二人で3人又は4人の受験生と15分ないし20分の面接をする。それを午前中5組、午後6組やった。わたしとしては来て欲しい子とウチの学科では無理かなと思う子とを判断をする。それを点数に振り分けるところが厄介だ。結構疲れる。5時頃終わって、その後、今度は昨日行われた実技「創作」の作品の採点を明日までに出さなければならないので、わたしは今日の内にできるだけ終えておこうと思って始めた。これは、入学してから映像作品を制作したり、演劇やダンスの身体表現をどのくらいこなせるか、というところを判断する。遙かに予想を超えた作品もあれば、これだけのことしかできないのかしらと思ってしまうような作品もある。この採点は、わたしとしては若い人の感性に触れることができるので、しんどいけれど楽しみもある。6時頃から始めて、途中夕食で休んで、9時までに70作品ぐらいを見て、下校した。地下鉄で帰宅。車内で疲れが出て居眠りした。帰って、夕刊を読みながらリンゴを食べ、牛乳を飲んだ。そして仕事場に下りて、[上野毛キャンパスの中庭の情景](#)をBlosxomBlogに入れて、それからこのblogの書き込みをした。

00:05:01 - shirouyasu - No comments

2005-03-12

映像演劇学科の入学試験。

11日は、3時頃喉が痛くて目を覚まして、常用の漢方薬の喉の薬を飲んで再び寝た。6時半に目覚ましで起床、朝食、トイレとすませて、8時前に家を出て上野毛の多摩美へ。午前中は造形表現学部の国語と英語の試験。わたしは待機。その間に試験問題をやってみる。また、教員の間で受験生が減少していることが話題になる。午後は、映像演劇学科の創作試験、いわゆる実技。5時に終わって、審査開場に並べられた答案の作品をざっと見渡す。6時過ぎ、研究室で明日の面接試験の準備をしている助手副手の人たちと中華の出前を取って夕食。わたしは五目チャーハン。その後、わたしはちょっと受験生名簿を整理する。9時を回って木村さんと下校。地下鉄で帰宅。上原駅から大股で歩いて汗をかいたのでシャワーを浴び、リンゴを食べながら夕刊を読み、牛乳を飲んで仕事場へ。BlosxomBlogに[駅に到着のムービー](#)を入れて、それからこのblogの書き込み。0時前だったので、0時を過ぎるまで、Cybershot DSC-M1の画像やムービーを再生して見る。

00:02:49 - shirouyasu - No comments

2005-03-11

3日続けて「韓国インデペンデント映画2005」を見る。

10日のトイレでは、「転換の書 メ・ティ」の「協会について」を読み返した。この「協会」は「党」ということだが、規律とか使命とかということではなく、個人ではなしえないことができる個人を超えた「主体」というもののあり方として考えられているようだ。今日も、朝はストレッチ体操をしないで11時頃家を出て坂の下からタクシーを拾ってイメージフォーラムへ行く。11時半からのEプロで「カメラ・プロジェクト：ボギル島の三つクィア・ストーリー」というホモセクスを扱った作品を見た。その後近くの蕎麦屋でとろろ蕎麦で昼食。2時からFプロの「20のアイデンティティ」という総タイトルの中に「20」という言葉をテーマにした短編作品集で10作品を見た。それぞれワンポイントのある作品だった。これで、Bプロと一つの作品を除いて全部見たことになる。それぞれの作品の中の情景も人物も、日本と似ているようで似てない。日本人よりもものをはっきり言う。言葉が多い。そのためにラディカルな印象を受ける。社会に積極的に発言している。それにアメリカが日本人よりずっと近いようだ。多摩美の学生の杉村さんがイメージフォーラムのもぎりのアルバイトに来ていた。じゃあね、と彼女に挨拶して外に出たら、また多摩美の学生の飯村さんにばったり会った。あなたも？と聞いたら、近くでアルバイトをしているという。それから、わたしは金王坂上の歩道橋の上からの眺めをCybershot DSC-M1で撮影して、東横デパートの地下へ行って、夕食に肉じゃがを煮ようと思って、タマネギがあるので、ジャガイモと白滝と牛肉を買い、ついでにリンゴ、ドレッシング、カボチャなどを買った。牛肉は「牛切り落とし肉」というのが買ったが、煮たら細かくなりすぎた。買い物をして、また笹塚行きのバスに乗って代々木上原駅前まで下りて帰宅した。夕刊に目を通した後、ジャガイモの皮をむき、タマネギを切って、その間に白滝を茹でておいて、肉じゃがを煮た。あと、長ネギのみそ汁も作って、麻理が八時過ぎになるというので、7時のNHKニュースを見ながら一人で夕食。その後、風呂に火をつけてちょっと仮眠してから、居間でここ数日してなかったストレッチ体操をしたが、古新聞を入れたプラスチックの箱の上に後ろ上がりをしているとき踵を切ってしまった。ちょっと手当てして風呂に入った。それから、仕事場で[「青山通りのムービー」](#)をBlosxomBlogに入れる。リンゴと牛乳。それから「曲腰徒歩新聞」の記事を書こうとしたが、11時を回っていたので、明日は多摩美の入学試験で早く行かなければならないから、止めて、このblogの書き込み。

00:04:54 - shirouyasu - No comments

2005-03-10

続けて「韓国インデペンデント映画2005」を見に行く。

9日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「協会について」、つまり共産党のことが書いてあったが、ちょっとぴんと来ない。ストレッチ体操はせずに、11時に家を出て坂の下でタクシーを拾ってイメージフォーラムへ行った。今日は、東海大の所から、山手通りを突っ切りニュージーランド大使館の前を通過して白洋舎前を出て、NHKの脇から税務署の所を通過して、東急ハンズの脇に出て、パルコから山手線を潜って、児童会館前を通り金王坂上で246に出るという道順で行った。今日の運転手さんはその抜け道を全部知っていた。11時半から「韓国インデペンデント映画2005」のHプロデ5本の短編作品を見た。その中の一つが「詩作教室」のタイトルで、高校で脱獄囚の人質になった教員が、その脱獄囚の要求で詩の講義をするが、脱獄囚から名前を覚えなかった生徒がいただろう、俺はその名前も覚えられなかった生徒の一人だと難癖をつけられるという作品だった。1時過ぎに終わり、昨日肉野菜炒めを食べた中華の店の「精陽軒」に行き焼きそばで昼食。2時前にイメージフォーラムに戻り、短編・アニメ8作品のGプロを見た。アニメといっても、かなりメッセージ性が強い感じだった。その後、また昨日行ったケーキ喫茶「風うたいClub」に行きコーヒーを飲み、今日はケーキのモンブランも食べた。およそ30分ほど、見てきた作品や「極私的に遂に古稀」のナレーションを考えたりした。そして、イメージフォーラムに戻り、富山さんと雑談をして、4時半からAプロのファン・チョルミン監督「スパイするカメラ」を見た。これは。左翼政党に警察から送り込まれたスパイの男が、警察にかくまわれて見張りの刑事と二人で狭い一室に閉じこもって隠れ暮らす内に、退屈しのぎに男が持っていたドストエフスキーの「罪と罰」を演じ、スパイに使ったカメラで撮影して映画ごっこしたりするが、男が兄に一人逃げ出すようにして会いに行ったために、疑われて最後に消されてしまうという話だった。政治を背景に、警察の手先になった貧しい育ちの男の運命が描かれている。暴力シーンやサスペンスシーンもあり、兄弟愛のじーんとさせられるシーンもありで、巧みな作風を感じさせられた。終わって、イメージフォーラムの事務所で畠山さんと、見に来ていた中島崇さんと雑談した。それから、近くの鰻屋「佐阿徳」で鰻重を食べて、青山学院大学の前の歩道橋を渡って、地下鉄の表参道駅まで歩き、地下鉄で帰宅した。夕刊を読んで、9時から寝室のベッドに寝ころんで久し振りにテレビドラマの「相棒」を見た。仕事場を下りて、今日はCybershot DSC-M1を忘れて行ったので、昼間DVカメラで撮った[チューリップの花](#)を、FinalCutProHDで取り込んで、QuickTimeに出力して、MPEG-4に変換してBlosxomBlogにアップした。これまでに、野々歩から2度麻理に電話があったが帰ってないと応答。その時点で、11時を過ぎても麻理はまだ帰ってこないで心配になり居間に行きリンゴを食べたり、牛乳を飲んでテレビを見ていると帰ってきた。なんか日本語の勉強会で遅くなったということ。彼女が昼間行き撮ったというおばあちゃんの部屋のビデオを見たりした後、このBlogの書き込みをした。

01:18:46 - shirouyasu - No comments

2005-03-09

「韓国インデペンデント映画2005」を見に行った。

8日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、革命の展開と自然の変転の二つの項目が「ものの流れについて」のという同じ題で書かれていた。何でも変化していくから、人は希望を持てるというものなのだろうとわたしは勝手に考えを進めた。今日はストレッチ体操はしないで、日録をノートしてから、11時過ぎに家を出て坂の下の道でタクシーを拾ってイメージフォーラムの「韓国インデペンデント映画2005」の映画を見に行った。井の頭通りが渋滞していて、山手通りに出て幡ヶ谷通りの合流点で左に曲がって白洋舎の前に出る抜け道を使ったが、11時半を少し過ぎてしまい、Cプロのキム・ゴク、キム・ソン兄弟監督の『資本主義宣言一万

国の労働者、蓄積せよ!』はもう始まっていた。それが1時半過ぎに終わって、近くのそば屋でざる蕎麦を食べ、2時から続いてDプロの2本を見て、近くの最近で来たと思われるケーキ喫茶でコーヒーを飲んで、その後、4時半から「事実と反論」と題されたDプロの7つの短編作品を見た。今年は去年よりラジカルだと感じた。5分の短編『やってはいけません』は、兵役拒否の話しから、韓国が海外派兵したニュースがつつられて行くが、途中からベトナムに派兵された軍隊の民間人に対する虐殺へと、ナレーションの言葉が変わって展開して「反省しましょう」という言葉で終わる反戦映画になっていた。わたしは知らなかったけど、韓国はアメリカが戦う戦争にはことごとく派兵していたのだ。6時過ぎに終わって、イメージフォーラムの富山さんとちょっと話しをして、かわなかさんが元気だという様子を聞き、イメージフォーラムを出た。近く中華店で肉野菜炒めとライスを食べ、宮益坂を下って駅前前のビックカメラでCybershot DSC-M1に使われているMemoryStick Duo Pro用のカードリーダーを買い、渋谷駅をくぐり抜けて、昨夜と同じ笹塚行きのバスに乗った。発車を待つ間、地下鉄銀座線の高い高架に電車が通ったので、それをCybershot DSC-M1で撮った。昨日は20時20分、今日は19時20分発車だった。代々木上原駅前で降りて、大股に歩いて帰宅。夕刊を読み、仕事場へ下りて、[高架上を走る地下鉄](#)をBlosxomBlogに入れて、それから「イメージフォーラムフェスティバル2005」のカタログの、「極私的に遂に古稀」の原稿を書いてメールで送った。その後、居間でリンゴを食べ牛乳を飲んで、大福とサツマイモ一切れを口にして、また仕事場に来てこのblogの書き込み。

01:33:11 - shirouyasu - No comments

2005-03-08

CyberShot DSC-M1を使ってみる。

7日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、エゴイズムについて、エゴイズムが悪い結果を招くのならば、そういう国家の状態が悪いのだ、と書いてあった。なるほど、という感じ。ストレッチ体操、シャワー、その間にサツマイモを蒸かす。そして昨日買ってきたDSC-M1を試す。部屋の中で撮影して、PowerMacG4に取り込んでみる。ムービーは「MPEG-4」でエンコードされているが、QuickTimeはサポートしていないという警告が出たが、QuickTimePlayerで再生はできたので、先ず、一安心。それから日録をノートして、1時前に昨日用意した確定申告の資料を持って家を出た。代々木上原の駅に行く途中で、井の頭道の交差点で赤で立ち止まったついでにCybershot DSC-M1で撮影。それから上原駅のホームでまた撮影。表参道で乗り換えて三軒茶屋で降りて、「アドヴァンス会計事務所」へ行く。もう、20年くらい確定申告を頼んでいる富田さんの事務所だ。資料を渡して、三軒茶屋の交差点でムービーを数カット撮影。そして田園都市線で二子玉川の駅へ、そこでまた撮影。乗り換えて上野毛へ。さくら庵でざる蕎麦を食べて多摩美へ。3時から入試の準備。終わって5時過ぎから打ち合わせの会議。7時半に下校。澁谷で降りてトンカツでも食べるかなと思って、東横地下のFoodShowを抜けようとしたら、野菜が目についたので、レタスとパプリカと牛乳を買い、井の頭線の階段の方から地上に出ようと思って歩いて行くと、「まい泉」のヒレカツが目についたのでそれを買って家で食べることにした。そして、笹塚行きにバスに乗って、バスの窓から公園通りに入るところの[夜景](#)をCybershot DSC-M1で撮影した。代々木上原駅前で降りて、大股に歩いて帰宅。家では、麻理がソファでおばあちゃんに電話していた。わたしはお腹が空いているので、電話中の麻理に声を掛けることなく、ネギのみそ汁を作って、ヒレカツの夕食をテーブルに運んで、カツは一つしか買わなかったのだから、それをまだ食事してないという麻理と分け合って食べた。その後、夕刊を読んでから、仕事場へ下りてBlosxomBlogに澁谷の夜景のムービーを入れた。Cybershot DSC-M1で撮ったままだと、5.7MBもあり、QuickTimeの警告が出るので、それをPlayerで書き出すことにしてやってみると、1.7MBになった。同じMP4のフォーマットでも圧縮率が違うようだ。その後、今朝プリントした渡辺洋さんの「詩を読む」の20ページ分を読んだ。洋さんは詩の言葉から、書き手の生きている

様を読み取ろうとして、その言葉を比喩として捉えていると思えた。11編読んですんなりと受け止められる詩は、武田百合子「夜」と片桐ユズル「ふつうの女の子に」の2編しかなかった。実は、昼間電車の中などでふとした折りに北村太郎「出口」の詩の言葉の比喩について考えていたのだった。何故北川さんは「針箱」を持ち出したのだろうか、またなんで「新聞を敷いたフロアに、ずーっと、立って」いたのだろうか。謎を掛けられた感じだ。渡辺洋さんは、「多くの個人は家の部屋の片隅に「針箱」を置くことで生きながらえている」と解説しているが、これって何か変じゃない、と、また「水がこぼれて濡れないように、新聞紙を敷いたフロアで、しばらく立っていた」と解説しているが、手をお湯に浸したのならタオルで拭けばいいじゃないか、と思えたりもした。何か家の中で起こっている感じがしないでもないが、書き手はそれを隠しているようにも思える。もし、隠しているのなら、その隠すというところが、現代詩の一つの問題点かもしれない、とも思えた。個人といいながら、個人が曝されていない。「たかさんの家の、部屋のどこか」というわけ。わたしは北村太郎さんを尊敬しているし、別に悪意があるわけではないが、その言葉の運びについては、現代詩というものとして考えたいと思う。詩を読んでから、居間に行ってリンゴと牛乳と桜餅半分、サツマイモ一切れを口にして、仕事場に戻りこのblogに書き込む。

01:33:05 - shirouyasu - 2 comments

2005-03-07

Sony CyberShot DSC-M1を買ってしまった。

6日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「思想の国について」と題していきなり「秩序をもたらす類のある種の思想、さまざまな思想のあいだに序列を生じさせる作用をもつ思想は、そのふるまいかたにおいて官吏と比較すると、じつにぴたりする。」と書かれていた。革命直後に始まった官僚主義のことかと思うが、有名人という存在に当たっているような気もする。ストレッチ体操、そして頭を洗うために風呂に入る。その間に、渡辺洋さんの「[詩を読む](#)」の139ページの内の40ページをプリントする。「アクションとして」、洋さんの「詩の読解作業」を対象にしてみようという思いつき。風呂から出て、カボチャとカボチャの煮付けを静止画に撮ってBlosxomBlogの入れる。それからネギ入りの掛け蕎麦で、琵琶湖マラソンのゴールを見ながら昼食。近くの区の社会教育館に行っていた麻理から電話があり、文化祭の彼女が手伝っている「NPOグループジューンフィス」の展示の店番を、彼女が他のグループの出し物を見る間だけしてくれというので、社会教育館に行って展示物の側の椅子に座っている。麻理が戻ってくるまで30分の間にそのグループが出版した江戸の社会環境についての切り紙絵本を読んだ。江戸は無駄のない清潔な町だったということ。麻理が戻って、わたしはその足で小田急で新宿へ。やはり、mp4のムービーが撮影できるDSC-M1が欲しくなってもう一度見に行くつもりだった。ヨドバシカメラで見ると59800円だった。暫く手に取ったりして見ていると、中国人か韓国人かの青年が来て、店員の女の子に56800円に負けろと言っている。女の子は、ちょっとお待ちを、と言って聞きに行き行って再び来て、いいということだった。青年は更に負けろと言っている。えっ、3000円も負けろの、わたしは驚いた。そうかあ、という感じだった。で、そこを離れてMac売り場を見てから、小田急ハルクの2階以上にあるビックカメラに行った。そこの歩道橋に上がるのに初めてエレベータを使った。ビックカメラでDSC-M1を見ると、そこには56800円の値段が付いていて、店員に、今度はわたしがもっと安くならないの、というと、あと2000円引くというのだった。ということは、54800円じゃないか、ヨドバシの値札からすると5000円も安い。その上、カードにバックがあるという。もう買うことに決めてしまった。動画デジカメを買って、エスカレータで地下に下りて、地下鉄に通じる通路で新潟という旗を立てたお婆さんが桜餅と大福を売っていたので買った。540円の40円細かいところを負けてくれた。それから、小田急本店の地下に行き、鯖の味噌煮と、子持ちカレーと、ぶり大根を買い、野菜売り場へ行く途中

で白菜の漬け物を買った。おつりの硬貨を入れていたポケットからざっくり100円玉と10円玉と五円玉と1円玉を手平に出したら、10円足りなかったが、こゝでも負けてくれた。野菜売り場ではサツマイモとトマトとアスパラを買ひ、それから五目おこわと栗おこわを買ってタクシーで帰宅した。野々歩が部屋の片づけに来ていて、韓国インデペンデント映画が面白いよ、と教えてくれた。一緒に夕食を食べて、食後、わたしは寝室に行き、ベッドの寝ころんで「義経」と、その後のNHKスペシャル「東京大空襲 60年目の被災地図」を見た。1945年3月10日のアメリカ空軍による焼夷弾爆撃がどのようになされ、人々がどう逃げて死んでいったかを絵と談話で描いていた。実は、わたしはその時9歳で、その2時間半に32万発も落とされた焼夷弾の下を、母と祖母と3人で亀戸から中川沿いに平井橋に逃げ、丁度その時風向きが変わって助かったのだった。逃げ遅れた叔父の一家は全滅だった。今回の番組で、アメリカ軍のパイロットが上空から延焼していく様子を地図上に赤鉛筆で時間を追って記録していたというのを知った。わたしがこどもで逃げまどうその上空に彼はいたのだ。また、この作戦を指揮したのがドイツの都市を廃墟にしたカーチス・ルメイ少将だったことも知った。彼は作戦を優先して老人やこどもや女が焼死することに何の呵責も感じていなかったらうというアメリカ人の談話もあった。その後、仕事場へ下りて、買ってきたDSC-M1の説明書を読み、バッテリーを充電する。そして、猫が足下に来てにゃーとせがんだので、台所に行き餌をやり、リンゴを食べて牛乳を飲み、買ってきた大福を食べて、また、仕事場へ戻り、プリントした洋さんの「詩を読む」の三つの詩を読んだ。わたしは、詩にかなり距離を取っているから、最初のやや悪意のある印象では、「どうしてこういう風にもったいをつけた言い方をしなければならないのか」という感想を持った。もちろん、心の深いところの微妙なことを言葉にするのだからこうなる、というのはある程度分かっているが。でも、ある種の言葉の受け止め方の用意をしなければその言葉はなかなか理解できないのではないだろうか。書く人は生活者である読む人に向かっているというより、言葉それ自体に向かっているように思えた。そして、このblogの書き込み。

01:46:33 - shirouyasu - No comments

2005-03-06

MacOS XでPerlをやってみる。

5日にトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、人民から略奪していた領主が外国から攻められると、その人民を守る立場になる、また領主たちが戦っているとき、その人民が立ち上がって領主たちをやっつけまい、自分たちを解放することができるというようなことなどが書かれていた。いずれも、革命と戦争の現実を踏まえてエピソードのように書いていくように見える。ちょっと政治漫画に似ているような感じもする。ストレッチ体操、シャワーの後、BlosxomWeblogに[チューリップの写真](#)を撮って入れる。miniDVカメラでメモリスティックに静止画を撮るとき、液晶画面が昨日DSC-M1を手にしたとき画面がパラパラとしたのと同じ感じだったので、メモリに動画を撮るときはこうなるのかな、と思った。このblogを見ると、昨夜、3日のこのblogに渡辺洋さんのコメントに対して書いたコメントに返事が来ていたのでそれに返事を書いた。「アクションとしての詩ということ」。麻理は昼食を食べないので、ネギと大根を入れた掛け蕎麦を作って食べる。その後、昨日買ってきたカボチャとゴボウに黒豆を入れて煮る。煮始めてから、居間のテーブルで確定申告の支払い書とか領収書の計算をして、仕事場へ下りてExcelで表に纏めて計理士に渡す資料とする。[カボチャはうまく煮えた](#)。コーヒーを飲んで夕刊を見てから、WebでMacOSでPerlをやる仕方を探した。そして、麻理が作ったハンバーグで二人で夕食を食べた。食後、寝室のベッドで仮眠。NHKスベの上海のコンビニ店舗の拡張競争と、スポーツニュースを見てからまた仕事場へ下りて、MacのTerminalでPerlをやってみる。Perlは直ぐにできたが、cgiファイルは、どうも上手く行かない。あれこれやっているうちに24時を廻ってしまった。で、このblog。

00:44:57 - shirouyasu - No comments

2005-03-05

スタインベックとシネコーダーを映像演劇学科に寄付する。

4日のトイレの「転換の書 メ・ティ」は「暴力を見分けることのむずかしさ」ということ。貧しさで顔も身体も歪んでしまっている人たちの身体は目に見えない暴力を受けた結果だという。階級制度が暴力ということか。そういえば今日の朝日新聞に日本の社会は二極化した階層社会に進んでいると書いてあった。また、東京新聞の夕刊には「新日本文学会」が6日に解散すると書いてあった。多摩美の檜山助教授が、もう使わなくなったスタインベックとシネコーダーをわたしが寄付するので、トラックで引き取りに来るといので、ストレッチ体操はしないので、時間が半端になり、午前中、Webで「blosxom::日本語訳」サイトを見ていた。BlosxomはMacでも使えるということが分かる。perlで書かれたWebアプリケーション。MacOS Xにはperlがある。blosxomをローカルで動かせるのではないかと、ということ。その間にサツマイモを蒸かしたが、ちょっと焦がす。12時過ぎに、檜山さんが何時来てもいいように、セーターを着替えて、麻理と肉じゃがで昼食。1時頃、多摩美を出るとい電話。それから2時過ぎに、隣の人が雪掻きを始めたので、わたしも家の廻りの道路の雪をシャベルで掻いていると、助手の内野君と学生たちが姿を現し、そのすぐ後に檜山さんが運転するトラックが到着した。先ず、若い人が4人でやっと持ち上げられるくらい重いシネコーダーをトラックに乗せ、次に車の付いたスタインベックを運び出してトラックに乗せた。トラックが出た後にやってきた野々歩に後の雪掻きを頼んで、3時過ぎに家を出て地下鉄と東急で多摩美へ。4時から、卒業進級判定の教授会。1時間も掛からないで終わる。その後、わたしは「母アンナFとその子供たち」の稽古を見学する。多摩美での稽古は今日で終わり。ワンシーンの稽古を見て、6時過ぎに下校。田園都市線で渋谷に出る。本屋でMacのperlの解説書か、Weblogのソースコードが書いてあるような本を探すがない。さくらやで、昨日これかなと思ったソニーのデジカメ「DSC-M1」を手にとってみる。画角は広いが、歩いている人を液晶画面で見ると何だかパラパラ写真みたいに動きがぎこちないのが気に入らない。鰻屋の松川で鰻重を食べて、もう一軒本屋に行く。そこにも目指す本はない。地下のTOPでコーヒーを飲んで、井の頭線の下の方のフレッシュオーワダで宮崎産のカボチャとゴボウと長ネギを買って、笹塚行きのバスに乗った。帰宅したのは9時前。夕刊を読んでいると麻理が帰ってきた。リンゴと牛乳とサツマイモ。仕事場を下りて、昨日のblog日記の渡辺洋さんのコメントから、洋さんの「詩を読む」サイトの飛んで詩を読もうとしたが、一、二の詩しか読めず、そのコメントを書いた後、このblogの書き込み。

00:42:57 - shirouyasu - No comments

2005-03-04

確定申告のための領収書などの整理。

3日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には「ズーの鍛冶職人たちが新しい仕事の道具を地方に送ったとき」のことが書かれていた。「ズーの国」とはロシアを指すのだそう。このところレーニンやエンゲルスのことが続けて書かれている。新しい道具というのは「刃は、バターを切り取るようによく切れた」とあるからチエンソーのことのようだ。ロシア革命の進展は機械化の進展でもあったと云うことが伺える。起きたとき気分が沈んでいたが、ストレッチ体操をやったら幾らか軽くなった。窓際の枯れたチューリップと水仙を外に出して、今夜雪が降るといので、最近芽が出てきたばかりのチューリップの鉢を室内の窓辺に移した。[それからあじさいの芽の写真を撮ってBlosxomWeblogに入れる。](#) mp4のムービーが撮れるデジカメが欲しくなる。そんなことをしているうちに1時半を廻って、一昨日買ってきて残っていたかき揚げで天ぷら蕎麦を作り昼食。後片づけの延長で、肉じゃがの下拵えをする。白滝だと思って買ってきてあったのがこんにゃくだった。

こんにゃくを茹でたら、どうせ煮るのだからと、肉じゃがを煮始めて、その傍ら、居間のテーブルで確定申告の昨年の領収書の整理を始めた。本とか、ソフトとか、DVカメラとか、タクシー代とか、その他必要経費で落とせるものの領収書を揃えるのだ。タクシーの領収書が沢山ある。部屋の整理に来ていた野々歩に去年使ったタクシー代を計算して貰ったら、三十数万円だった。去年は膝が痛くて多摩美の帰りによくタクシーに乗った。でも、考えようによっては、月にして3万程度だから自家用車を持つより経費はかからない。夕方分類だけやって、肉じゃがと豆腐のみそ汁とカボチャの煮付けで、野々歩と夕食を食べた。父親のわたしが作った惣菜で息子と夕食を食べるのは初めてのこと。食後、夕刊の堤元西武会長の逮捕の記事を読んで、仕事場を下りて、mp4のムービーが撮れるデジカメをWebで探す。ソニーの「DSC-M1」はどうか、と思う。それから麻理に頼まれた8ミリビデオテープからminiDVテープにダビングをする。これが、もうかなり長いこと使ってない、仕事場の脇の棚にごちゃごちゃとケーブルが絡まっている8ミリビデオデッキを奥のパソコンコーナーの所に持ち出して、miniDVデッキに接続しなければならいので、狭いところでケーブルを外すのに、机の下に潜り込んだりで一苦勞だった。それで、汗をかいて下着を取り替えた。丁度ダビングを始めたところに麻理が帰ってきた。テープの内容は、東南アジアの留学生たちが、料理の手順を日本語で説明するという授業風景だった。「この黒いセーターの子、バングラディッシュの金持ちのお坊ちゃん」と麻理が指さすのを聞いて、仕事場に戻ってこのblogを書き始めた。

00:22:20 - shirouyasu - 7 comments

2005-03-03

ドキュメンタリー制作会Azの町村敬文君と会う。

3月2日、トイレでは「転換の書 メ・ティ」を読む。ロシア革命の進展を登山に喩えた話し。ブレヒトは希望を持って革命を見守っている感じだ。ストレッチ体操の後シャワー。Blosxom_blogにチューリップの花の写真を入れる。渡辺洋さんの「[f451 BBS](#)」に「Webって『自己データ化装置』ともいえる」と書いてしまう。麻理と昨日のアン肝鍋に卵をとじて昼食。二人でアン肝が美味しかったねと言葉が合う。2時半頃家を出て多摩美へ。今日も乗り換えがスムーズに行って、3時には上野毛に着いてしまう。コンビニで和食弁当とジジミのみそ汁を買って研究室に行く。3年の福井さんが来て、暗室の鍵を開ける。福島映像演劇学科長と受験志願者の数について「減りましたね」と言葉を交わす。でもまあ定員の4倍余りはある。4時に、慶応大学のドキュメンタリー制作会Azの町村敬文君が訪ねてきた。5月4日に開かれる「AzContest2005」のゲストを引き受けたので、挨拶をしたいと云って来たのだ。プロアマの区別なく撮られ、幅広くなったドキュメンタリー映像について、また自己のデータ化によって情報の交換として人が関係を持つ時代だということも話す。彼が帰った後、受験の応募者数が気になったので他の美大などの受験者数をWebで調べて表にする。それから、弁当を温めて食べる。8時頃、演劇スタジオの「母アンナとその子供たち」の稽古を覗いた。ダンサーたちが歌を歌っていた。9時廻って、先ほど作った表を加納教務主任に渡して、暗室の鍵を閉めて、地下鉄で帰宅。今日から、なるべく大股で歩くことにして、その歩き方で駅から家まで歩いた。リンゴ食べて、牛乳と角きんつばを口して、夕刊を読み、野々歩に電話して仕事場へ来て、blog。

00:39:23 - shirouyasu - No comments

2005-03-02

BLOXOM WEBLOGをやってみる。

3月1日、2月は2日3日少ない。この少ないという無い日にち、ちょっと考え込むとその無いというのは、人間の意識にとって時間がないということなんです。今日読んだ「転換の書 メ・ティ」は「老いたひとびとの無力さ」ということだった。

「かれらの話は、脈絡を見失っているため、だらだらとつづく。かれらが暴君であるのは、もう愛されることがないからである。かれらが苛立つのは、じきに死ぬからである。」だってさ、身に伝える。ストレッチ体操をやる前に、カボチャを切って、ゴボウと黒豆と一緒に煮始める。シャワーを浴びて、日録をノートし終わる頃には煮えていた。砂糖だけだったので、薄味で物足りない。パルケに行って、レタス、トマト、その他肉じゃがの材料を買って帰る。家に着いたら、健康診断で保健所に行っていた麻理と玄関でばったり、アンコウの肝と牡蛎を美味しそうなので買って来たという。昼食は、麻理は買って来た中華丼弁当、わたしは買って来たエビの天ぷらで天ぷら蕎麦。カボチャの煮付けも食べた。味が薄いので醤油を垂らして食べる。昼食後仮眠、ベッドでテレビの再放ドラマ「おみやさん」を見ながらうとうとする。仕事場に下りる前に、カボチャの煮付けに醤油をちょっと入れて火をつけた。Webの清水哲男さんの「[私の昭和史](#)」を見たり、「かわごちコラム日記編」を見たりしているうちに、隣の部屋でパソコンをやっていた麻理が慌てて台所に行き戻ってきて「焦がしちゃった」といったので、「しまった」と思ったが後の祭り。台所に行き鍋に水を差すと白い湯気がシュッと上がって、真っ黒だった。ゴボウを爪で口にしてみたが、食べられるが、苦い。麻理はアンコウの肝と牡蛎の鍋の火はちゃんと止めていた。わたしは、折角それなりに煮えていたのに、ちょっとの味付けのために煮足したことで焦がしてしまったのでショックだった。で、煮直そうと思い、麻理がポン酢を買いに行くというので、カボチャも頼んだ。麻理が買いに行っている間に、焦げた鍋を洗ったが、底に黒豆がこびりついて取れないので、肉を切る食用のナイフの先でごしごし擦ってやっと削り取った。そして、麻理がアンコウの肝の早い夕食を食べて即興演劇を見に出かけた後、カボチャを切って、ゴボウと茹でタケノコと黒豆と一緒に入れて煮た。今度は居間で夕刊を読んだりして、鍋の火に気をつけて、美味しく煮ることができた。一日に2回カボチャを煮るなんて初めて。でも、2回目に美味しく煮えて気持ちは収まった。それから、アンコウと牡蛎と大根の鍋物で一人で夕食を食べて、その後、ベッドで休んでテレビの老人の転倒予防の番組を見た。そして仕事場に下り、斎藤麟の「エンジェル」の一幕を読み終えた。それから、最近、灰皿ネットで開設されたBLOXOM WEBLOGをわたしも使ってみることにて、[「shirouyasuBloxom」](#)サイトを作って貰った。それをちょっとそれをやってみてから、このblogの書き込み。BLOXOM WEBLOGをどう使うかまだ決めてない。

01:51:49 - shirouyasu - No comments

2005-03-01

2月最後の日、タクシー代をまけて貰った。

28日、トイレで「転換の書 メ・ティ」の「キン・イエーの医学理論」の項目。病気の悪い面を一層悪くして健康にする、ということ。12時前に家を出て乗り継ぎがうまく行き12時半には上野毛について幸楽飯店でモヤシ蕎麦を食べて汗をかく。コンビニで和食弁当とシジミのインスタントみそ汁を買い、研究室に行き、鍵を持って演劇スタジオに行ったら加納さんがもう開けてあった。研究室に戻り、いろいろな書類を整理。もう今年度も終わるので、要らない書類を捨てて、学生の企画書など参考になるものは戸棚にしまった。それから、演劇スタジオに行って「母アンナとその子供たち」の稽古を見学する。「そんなセリフの受け応えでは、次のセリフが言えない」など、今日の稽古はきびしい。夕方研究室に戻り新学期の日程を確認する。3年の木村さんと穴戸さんが来て、来年度の卒制の発表場所の話合いの3年生全体の集まりがあるということ。それから、弁当をレンジで温めて食べる。その後、シアターXの2003年の活動を纏めた冊子で、岩淵達治氏がシアターXの「プレヒト的プレヒト演劇祭」をきびしく批判している文章を読んだ。それから、斎藤麟の「エンジェル」を読み始めて、途中まで読んだところで、フィルム編集室で編集をしていた3年の井上さん、佃さん、福村さんが終わったと言ってきたので、その鍵を閉めに行く。10時近く、約束していた見木久ヲ君が来て、音楽を作って貰うために「極私的に遂に古稀」の粗編のテープを渡す。一緒に下校し

て、上野毛駅前の寿司屋の「日本海」へ行ってビールで寿司を食べる。彼は昼飯を食べてなかったと言ってよく食べた。仕事の話し。11時を廻って、わたしはタクシーで帰宅。その運転手さんが、上野毛から上原までの最短の道というのを説明しながら走った。いつもは駒沢公園通りから246に出て三軒茶屋から茶沢通りに入るのだが、彼は246を突っ切って、二つ目の信号、地図で見ると弦巻2の信号を右折して環七に突き当たり、駒留陸橋の下で右折して、世田谷通りに出て、ハンバーグ店を左折して、世田谷線を越えて右折して茶沢通りに出ると言う道を取った。上原まで来て、3780円になり、下りるとき「運転手から負けて貰うと運が着くというよ」と言って30円負けてくれた。タクシー代を負けて貰ったのは初めてのことだ。帰宅して、夕刊を読みながらサツマイモを蒸かし、リンゴを食べ、蒸かしたサツマイモを口にしながら牛乳を飲んだ。その後、仕事場に下りて、退院したというかわなかさんからのメールに返事を書き、その後blog。

02:12:42 - shirouyasu - No comments